

令和3年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1473701256	事業の開始年月日	平成17年3月1日
		指定年月日	平成17年3月1日
法人名	医療法人 徳寿会		
事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台		
所在地	(〒227-0033) 横浜市青葉区鴨志田町758-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		エッセ数	2 エッセ
自己評価作成日	令和4年1月11日	評価結果 市町村受理日	令和4年5月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>以前は、お客様が外出する機会を多く設ける様にし、地域・社会との繋がりを大切にしていました。現在は、コロナ禍の為、外出する機会が減少している。グループホーム内のイベントを多くしお客様に楽しんで頂いている。</p> <p>個人の思いを大切に、その人らしい生活が送れるよう支援している。</p> <p>また、職員は内外への研修に参加し、スキルアップに努めている。</p>

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9F		
訪問調査日	令和4年1月27日	評価機関 評価決定日	令和4年4月1日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、田園都市線青葉台駅、又は小田急線柿生駅よりいずれもバスに乗り10分程の幹線道路に面した傾斜地に立地している。鉄骨造り2階建ての建物で、同一法人の介護老人保健施設と隣接しており、災害時等に協力が得られる。新型コロナ禍において駐車場兼前庭は、外気浴や散歩を行い気分転換できる恰好の場になっている。</p> <p>【利用者本位の支援】 散歩や入浴で職員と利用者が1対1になる時など日々の関わりをもつ中で、利用者の希望を把握し、介護計画や「お料理会」などの行事に反映している。また、携帯電話で家族と話したいと希望する方は、本人の気が済む迄話せるよう周囲に配慮しつつ支援をしている。意向の把握が困難な場合は、嫌な時は「口を開かない・目を瞑る」等、利用者の表情から職員が汲み取り、その情報を職員間で共有し支援している。</p> <p>【食を楽しむことの支援】 ご飯と汁物は職員が作り、専門業者から配送される調理済みの食品を温めて提供している。パン食や麺類も取り入れた献立である。お茶入れ、お盆拭き等を利用者も行い食事に関わっている。行事の際には利用者の嗜好に配慮し、寿司の出前を注文する等している。「夏まつり」では屋台をイメージして、たこ焼きやおでんを昼食に提供した後、スイカ割りを行い楽しんでいる。利用者に好評の「お料理の会」は、開催頻度を増やし、お赤飯や唐揚げ等を皆で作って楽しんでいる。また、移動パン屋の来訪依頼もして新型コロナ禍で外出や面会が出来ない代わりに「食」を楽しむ機会を多く作っている。</p> <p>【小まめな排泄支援対応で昼夜とも布パンツ使用に】 職員は、利用者ごとの排泄のパターンを「排泄表」で把握して、時間で誘導したり、利用者の様子から推察して声かけを行い、トイレでの排泄を促している。食事やレクリエーションの前後にも声掛けをしてトイレ誘導している。職員の小まめな対応が奏効し、おむつを使用している方はいない。入居時に布パンツに移行できる方も多く、17名中11名が昼夜共に布パンツを使用している。職員は、一人ひとりの状態に応じた排泄の支援をしている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に添った年間目標を毎年立てている。より良い施設運営を職員同士で目指している。	事業所の理念「住み慣れた地域とより家庭に近い馴染みの環境のもとで、入居者一人一人の生活に応じた包括的介護という処遇によって認知症のために、日常生活を営む上で支障のある高齢者の福祉と人生の質の向上を目指す。」を掲げ事業所内に掲示し共有している。理念に基づき年間目標「活気あるホーム作り」を掲げ、新型コロナ禍で外出できない代わりに、利用者が好む催しの回数を増やすなどの工夫をして、年間目標の達成に努めサービスを提供している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域へのイベント等に参加している。年間予定のもと実施、継続している。また新しい窓口も増えつつある。令和2年度はコロナのため休止状態	自治会に加入し、地域清掃や夏祭り等への参加を予定していたが、新型コロナ感染防止のため中止となっている。歌や集団体操のボランティアとの交流も中断しており、毎週訪れる移動パン屋での買物が唯一の交流の場となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍の為、出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様や地域住民による率直な評価を元に研修、改善への取り組みとして活かす働きかけを行っている。	運営推進会議は、新型コロナの感染状況を判断しながら、書面開催や集合開催を奇数月に実施している。メンバーは、利用者家族の代表、地域包括支援センターの職員、民生委員、事業所の職員である。参加者から、事故があった際に役立つと思われる「もしも手帳」活用の提案があり、次回その有効性を検証する予定である。	

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区や市の研修に参加。運営推進委員会で事業所の様子を伝え、助言を行っている。	高齢・障害支援課の職員とは、必要に応じた電話連絡を通して、相談などがしやすい関係を保っている。運営推進会議の報告書は郵送している。生活保護費受給者を受け入れており、生活支援課の職員とも定期的に状況報告をする等で協力関係を築いている。区の福祉保健センター主催の感染症の研修に参加している。	
---	---	--	---------------------------------------	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束を行わないことを理解している。しかし事業所の前の道路は交通量が多く危険なため、ご入居様の状況に合わせ、必要に応じてユニットごとにドア施錠をしている。	2ヵ月に1度開催の「身体的拘束等適正化対策検討委員会」や年2回開催の「身体拘束廃止研修」を通して、虐待や身体的拘束をしないケアの確認をしている。研修に参加できなかった職員は、資料を読みレポートを提出して全職員が理解できるようにしている。洋服を探し始める等、帰宅願望のある方の兆しを職員が把握して声掛けし、気持ちが落ち着くようにしている。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待マニュアルは、常に閲覧できる所に掲げている。研修に参加し、情報の共有と意識改善する機会を作り、虐待防止に努めている。	高齢者虐待防止について、5月に施設内研修を実施し身体的虐待のみならず心理的虐待や早期発見の責務について学んでいる。スピーチロックも拘束に該当すること等も学び、虐待が見過ごされることがないように職員間で注意しあっている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などを踏まえて権利擁護を学ぶ機会を持っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、利用契約書、重要事項説明書の内容説明を行い、当事業所への希望を伺い、対応可能な内容の確認を行っている。管理者がご家族様に説明しご解の下、契約書を交わしている。		

10	7	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱をご家族様の目の付きやすい所に設置。面会や行事など来訪時に本人の様子を伝えている。ケアプランは、本人やご家族様の意見を聞き、反映させている。</p>	<p>利用者それぞれの日常の様子を写真に収めた「ひまわり新聞」を年1回の頻度で家族に提供している。家族の来訪時に利用者の様子を伝え、家族の要望・意見は、その際の会話から把握している。新型コロナ感染予防のために来所を中断している間は、電話で本人の状況を細かく家族などに報告し、その際に意見を聞いている。「ガラス越しでも面会したい」、「薬が変わったら電話が欲しい」などの家族の希望に応じている。</p>	
----	---	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は面接やミーティングにて、職員の意見を聞く努力に努めている。内容は、定期的開催する定例会にて法人に伝えている。	管理者は、日々の申し送りや概ね1～2カ月に1回開催するユニット合同のフロア会議で職員の意見や提案を聞いている。電話対応マニュアル作成の提案や業務手順の見直し案などの職員の意見を検討議題として、継続し話し合っている。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人目標管理シートで、各自目標を設定し、評価している。面接を行い、目標の方向性や達成水準を確認し向上心を育成している。	職員は「個人目標管理シート」で自ら目標を立てている。評価は自己評価の後、法人が評価する仕組みがあり、その評価に関する面接を年2回実施している。年1回ストレスチェックを行い、法令に則って健康診断や休憩できる環境を整えている。介護福祉士資格取得については、受講料や交通費の補助が得られるほか、資格取得後は手当が支給される。外部研修についても受講料や交通費の補助が得られる。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員がスキルアップの機会を得られるよう、内部、外部の研修への参加を支援している。またその際はソーシャルディスタンスを厳守している。	事業所の年間研修計画がある。今年度は、新型コロナ禍の影響により、施設内研修を主に職員の育成に取り組んでいる。必須研修は、派遣職員も含め全員が対象である。参加できなかった職員は、資料を読みレポートを提出し、職員の共通の理解を図っている。新人職員の育成は、OJTを行っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や内外の研修に参加する事で、他グループホーム職員の交流を図り、会議などで共有しサービスの向上に努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時などに、ホームへの希望と共に、今までの生活歴や生活環境を伺い、今後ホームで安心して生活して頂けるよう、取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との電話、又は面接時の会話にて悩んでいる事を伺いホーム入居に関しての心配や不安を減らす努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、ご本人様やご家族様に今後の希望を伺い、必要な支援が受けられる様、提携機関、協力機関と連絡を取っている。必要に応じ、今まで利用していた機関からの情報も得ている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備、おやつ作り、洗濯物畳み、居室掃除等、入居者様個々の状況に応じ見守りながら、出来る事は一緒に行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の様子や体調、要望等を電話や面会時にこまめに伝えるようにし、本人の生活がより良いものになるよう、ご家族様、職員で話し合う機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様のほか、親戚、友人知人の来訪を歓迎し、楽しい時間を過ごせるよう支援している。又、電話や手紙、贈り物の取り次ぎも行っている。また、面会の際にはガラス越しなど感染防止に努めている。	新型コロナ禍の影響はあるが、状況を判断しながら面会の中止や再開をして関係維持の支援をしている。現在は、ガラス越しの面会の実施や電話の取り次ぎ支援を通じて、馴染みの人との関係を保っている。毎週来訪する移動パン屋は、開始から3年を経過しており、利用者の新たな馴染みの関係になっている。入居前からの生活習慣の継続で、新聞を読む方や花の水やりを楽しむ方がいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士の談話等は十分に楽しんで頂き、交流を図るのが、苦手な方は孤立しないよう時々席替えをして新しい関係を築けるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設に移られた後も家族からの相談にも応じている。契約終了になったご家族様が、時々、来訪して下さい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、入居者様の意向や希望を聞き、情報は申し送りや記録で共有している。またケアプランに反映している。把握が困難な時は表情や行動から汲み取る事を心掛けている。	散歩や入浴で職員と利用者が1対1になる時など、日々の関わりをもつ中で利用者の希望を把握し、介護計画や「お料理会」などの行事に反映している。意向の把握が困難な場合は、「嫌な時は口を開けない・目を瞑る」等の利用者の表情から職員が汲み取り、その情報を職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様から生活歴や生活習慣を伺い、入居後もこれまでの生活が維持できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子や体調、言動の変化などを記録に残し、申し送る事で全職員が現状を把握するように努めている。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様の意向や医師の所見も取り入れて介護計画を作成する。通常は3か月ごとに、急変時はその都度見直すために話し合いを設けている。	長期目標6ヵ月・短期目標3ヵ月を基本とした介護計画を作成している。3ヵ月に1度モニタリングを行い、利用者の状況について意見交換している。状況に変化があればその都度計画を見直し、家族の意向や医師などの意見も反映し、介護計画を作成している。カードックスに介護計画を添付して計画を確認しながら介護記録を記載している。	

27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の生活の様子や体調等の現状を介護記録に記入。職員間で情報共有し日常介護に活かしている。</p>		
----	--	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて医師、看護師、薬剤師、在宅医療マッサージ、他施設の相談員、福祉用具店などの協力を得て、その時に必要としているものを提供する努力をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為、地域の催し物に参加が出来ず、支援出来ていない。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による往診を受けているが、ご家族様の付き添いによる他受診も可能である。歯科は協力病院への受診か往診を、ご本人様・ご家族様の希望で選択している。	認知症専門医を受診している1名を除く利用者全員が協力医療機関の内科医の往診を月2回受けている。看護師が月2回訪問し健康管理をしている。歯科医の訪問が毎週あり、希望者の治療や口腔ケアを行っている。往診医以外の専門医への受診は、家族が同行したり状況によっては家族と職員が同行している。診察の結果は「介護記録」や「申し送りノート」に記載して内容を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の看護師へ心身の状態や医師の指示、ご本人様、ご家族様の希望を報告し適切なアドバイスを受け、健康管理を行っている。		

32	<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>介護サマリーや受診、往診の記録で情報を伝え安心して生活できるように支援している。又面会、ムンテラ時に同席し退院後の受け入れ態勢を整えている。</p>		
----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応にかかる方針を定め同意書を得ている。又、協力医療機関よりの医師、看護師、ご家族様と話し合いを重ね、今後の方針を共有する体制がある。近年ではGHでのお看取りを希望される家族が増え、GH内でのお看取りのノウハウも蓄積されている。	利用開始時に「重度化した場合の対応に係る指針（同意書）」で事業所の方針を家族などに説明し同意を得ている。重度化した時は、協力医療機関の医師等と連携して、家族等の希望を再確認しながら利用者の状況に応じた対応をしている。ここ1年間で1名の看取りを経験している。看取りの振り返りでは、職員から「落ち着いた対応ができた」との意見が多く上がった。家族からは「最後の場面に立ち会え、好きな酒で利用者の口元を濡らすことができた」と感謝の言葉をもらっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回、入居者様とともに避難訓練を行っている。又、併設している同法人施設より協力を得られる体制となっている。	2021年3月と10月に夜間の火災を想定した自主消防訓練を実施している。事業所の立地は、近隣の方からの協力を得にくいこともあり、避難訓練時には隣接している老人保健施設から職員の応援を得ている。また、事業所で備蓄している品とは別に、3日分の備蓄品を老人保健施設に保管してもらっている。飲料水、米、災害備蓄用パンなどの食品3日分と卓上カセットコンロを準備し避難訓練時に消費期限の確認をしている。	利用者が訓練に集中できる工夫をするなど、より効果的な訓練の実施を期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はご本人様の人格を尊重し、プライドを傷つけないように意識して言葉かけ等を行っている。又個人記録には氏名の明記などしない様に職員全員が周知し、その人らしさを大切にしている。	2021年2月に「接遇とマナー」、3月に「倫理プライバシー保護」の研修を実施し言葉掛けや対応の確認をしている。記録する際は、氏名ではなく部屋番号で記入し、利用者を前にして申し送りをする際は、イニシャルで話している。呼称は、苗字に「さん」付けを基本としているが、同姓の方2名は名前と呼んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が積極的に関わる事で、ご本人様の気持ちを察し、促すようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクをする際に、何をしたいか伺ったうえで行っている。迷っている方には幾つかの案をお提供し、選択して頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容と連携を図り、ご本人様の望む身だしなみやおしゃれに添えるように努めている。		

40	18	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>身体機能を維持するためにも、食事の準備や後片付け等、積極的に行って頂いている。又、お料理会の開催や出前等を通し、食事を楽しんで頂いている。</p>	<p>ご飯と汁物は職員が作り、おかずは専門業者から配送される調理済みの食品を温めて提供している。一日1500キロカロリーを目安の献立である。パン食や麺類も取り入れている。お茶入れ、お盆拭き、配膳などを利用者も行い食事に関わっている。行事の際には、利用者の嗜好に配慮し寿司の出前を注文している。「夏まつり」では屋台をイメージして、たこ焼きやおでんを昼食に提供した後、スイカ割りを行い楽しんでいる。利用者に好評の「お料理の会」は、開催頻度を増やし、お赤飯や唐揚げ等を皆で作楽しんでいる。また、移動パン屋の来訪依頼もして新型コロナ禍で外出や面会が出来ない代わりに「食」を楽しむ機会を多く作っている。</p>	
----	----	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量や食べ方、飲み方を記録し、本人に合わせた食事形態を工夫し提供している。又必要に応じて医師、看護師に相談し指示を仰いでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを促し、見守りの介助を行っている。又、就寝時には、義歯をお預かりし義歯を洗浄している。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレにて排泄できる様誘導のタイミングを考えている。法人の改善事例研修で入居者様の排泄パターンや行動を明確にし、リハバンから布パンツに変更出来た方も居る。	職員は、利用者ごとの排泄のパターンを「排泄表」で把握して、時間で誘導したり、利用者の様子から推察して声かけを行い、トイレでの排泄を促している。食事やレクリエーションの前後に声掛けをしてトイレ誘導する等、職員の小まめな対応が奏効し、おむつを使用している方はいない。布パンツに移行する方も多く、17名中11名が昼夜共に布パンツを使用している。職員は、一人ひとりの状態に応じた排泄の支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を利用し、職員間での情報を共有している。又、医師、看護師と相談し、お客様が不快にならぬよう努めている。		

45	20	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴予定は決めさせて頂いているが、気持ちよく入って頂ける様に支援している。また、季節に応じて菖蒲湯やゆず湯を提供している。体調面や拒否がある時は変更している。又、無理強いすることはしない。</p>	<p>利用者は、概ね2日に1度の頻度で入浴している。現在、毎日の入浴や同性介助を希望する方はいない。入浴を好まない方には、声掛けする職員を替えたり「お風呂に入らないと医師から言われている薬が塗れないので」等と声を掛け、利用者に入浴を促している。脱衣所の床暖房と浴室温風機を備えヒートショック対策をしている。好みのトリートメントの使用や柚子湯・菖蒲湯などで季節を楽しみながら入浴している。</p>	
----	----	---	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調やその日の状態に応じて、日中臥床時間を設けたり、外気浴をして夜間の安眠を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員間で情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の好みや得意な事を活かし、ご本人様の希望に添える様、支援している。散歩、行事参加を楽しみにしている。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為、外出が出来ていない。外気浴やホーム内の行事を楽しんで頂いている。	外出は春に桜、秋にイチョウ並木の紅葉を車中から見物しに出かけたのみで、新型コロナ禍で外出が思うようになっていない。外出の代わりに、「お料理会」などの利用者が好む行事の回数を増やして気分転換している。日常的には天候を考慮しながら、敷地内の前庭で散歩や外気浴をしている。歩行が困難な利用者も車椅子を使用し同様に外気浴などを行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ禍の為、お買い物には行けないが、移動パン屋さんに玄関まで来て頂きパンを選び購入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人情報に配慮して電話を取り次いだり、手紙や年賀状など、大切な人との繋がりが途切れない様に支援している。又、利用者様の携帯は、常にご自身が使用できるようにしている。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに協力して作った季節の壁飾りを展示したり、テーブルに花を飾ったりして、居心地の良い空間を演出している。また、職員、入居者様と掃除や消毒を定期的に行っている。	窓の開閉をまめに行うと共に、採光をカーテンで調節している。サーキュレーターや加湿器を備え空調設備で温度管理をする等、利用者にとって不快な刺激がないよう努めている。清掃は毎日職員と利用者が行い、ワックスがけなどは、専門業者に依頼して環境を整えている。行事に参加した利用者の写真を壁に飾り、季節に合わせ雛人形やクリスマスツリーを飾るなどして季節を感じられるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人様の活動に合わせ、座席配置の工夫をしている。パズルや塗り絵、読書など一人でも気の合った方でも過ごせる環境を作っている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や物品、配置などは入居時にご家族様もしくはご本人様にお任せしている。	事業所が備えた空調設備、クローゼット、ベッド、カーテンがある。利用者は、照明器具、整理ダンス、テレビ、写真、時計、琴など思いおもいの品を持ち込んでいる。ソファなどの家具を多数持ち込む方もいれば、必要最小限の持ち込みの方など様々である。	

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、能力に応じ生活が送れるよう、共有部分に手すりや洗面所近くに椅子を置いている。又、トイレなどを明記し、安心して生活できるような環境を作っている。		
----	--	---	---	--	--

事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に添った年間目標を毎年立てている。より良い施設運営を職員同士で目指している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域へのイベント等に参加している。年間予定のもと実施、継続している。また新しい窓口も増えつつある。令和2年度はコロナのため休止状態		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍の為、出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様や地域住民による率直な評価を元に研修、改善への取組みとして活かす働きかけを行っている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区や市の研修に参加。運営推進委員会で事業所の様子を伝え、助言を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束を行わないことを理解している。しかし事業所の前の道路は交通量が多く危険なため、ご入居様の状況に合わせ、必要に応じてユニットごとにドア施錠をしている。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待マニュアルは、常に閲覧できる所に掲げている。研修に参加し、情報の共有と意識改善する機会を作り、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などを踏まえて権利擁護を学ぶ機会を持っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、利用契約書、重要事項説明書の内容説明を行い、当事業所への希望を伺い、対応可能な内容の確認を行っている。管理者がご家族様に説明しご解の下、契約書を交わしている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱をご家族様の目の付きやすい所に設置。面会や行事など来訪時に本人の様子を伝えている。ケアプランは、本人やご家族様の意見を聞き、反映させている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は面接やミーティングにて、職員の意見を聞く努力に努めている。内容は、定期的開催する定例会にて法人に伝えている。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人目標管理シートで、各自目標を設定し、評価している。面接を行い、目標の方向性や達成水準を確認し向上心を育成している。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員がスキルアップの機会を得られるよう、内部、外部の研修への参加を支援している。またその際はソーシャルディスタンスを厳守している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や内外の研修に参加する事で、他グループホーム職員の交流を図り、会議などで共有しサービスの向上に努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時などに、ホームへの希望と共に、今までの生活歴や生活環境を伺い、今後ホームで安心して生活して頂けるよう、取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者様やご家族様の不安を理解し丁寧な対応を心掛け早期に信頼関係が構築出来るように努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、ご本人様やご家族様に今後の希望を伺い、必要な支援が受けられる様、提携機関、協力機関と連絡を取っている。必要に応じ、今まで利用していた機関からの情報も得ている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備、おやつ作り、洗濯物畳み、居室掃除等、入居者様個々の状況に応じ見守りを行い、入居者様が主体的に又、互いに支えながら生活していける事を大切にしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の様子や体調、要望等を電話や面会時の際、こまめに伝えている。生活がより良いものになるよう、ご家族様、職員で話し合う機会を設けています。又、ご家族様が可能な限り病院受診に付き添って頂き協力して頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様のほか、親戚、友人知人の来訪を歓迎し、楽しい時間を過ごせるよう支援している。又、電話や手紙、贈り物の取り次ぎも行っている。また、面会の際にはガラス越しなど感染防止に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士の談話等は十分に楽しんで頂き、交流を図るのが、苦手な方は孤立しないよう時々席替えをして新しい関係を築けるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設に移られた後も家族からの相談にも応じている。契約終了になったご家族様が、時々、来訪して下さい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、入居者様の意向や希望を聞き、情報は申し送りや記録で共有している。またケアプランに反映している。把握が困難な時は表情や行動から汲み取る事を心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様から生活歴や生活習慣を伺い、入居後もこれまでの生活が維持できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子や体調、言動の変化などを記録に残し、申し送る事で全職員が現状を把握するように努めている。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様の意向や医師の所見も取り入れて介護計画を作成する。通常は三か月ごとに、急変時はその都度見直すために話し合いを設けている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の様子や体調等の現状を介護記録に記入。職員間で情報共有し日常介護に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて医師、看護師、薬剤師、在宅医療マッサージ、他施設の相談員、福祉用具店などの協力を得て、その時に必要としているものを提供する努力をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為、地域の催し物に参加が出来ず、支援出来ていない。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による往診を受けているが、ご家族様の付き添いによる他受診も可能である。歯科は協力病院への受診か往診を、ご本人様・ご家族様の希望で選択している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の看護師へ心身の状態や医師の指示、ご本人様、ご家族様の希望を報告し適切なアドバイスを受け、健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーや受診、往診の記録で情報を伝え安心して生活できるように支援している。又面会、ムンテラ時に同席し退院後の受け入れ態勢を整えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応にかかる方針を定め同意書を得ている。又、協力医療機関よりの医師、看護師、ご家族様と話し合いを重ね、今後の方針を共有する体制がある。近年ではGHでのお看取りを希望される家族が増え、GH内でのお看取りのノウハウも蓄積されている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回、入居者様とともに避難訓練を行っている。又、併設している同法人施設より協力を得られる体制となっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はご本人様の人格を尊重し、プライドを傷つけないように意識しその方が安心出来る言葉かけを行っている。又個人記録には氏名の明記などしない様に職員全員が周知し、その人らしさを大切にしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居様の思いや希望を話しやすいように積極的に関わりを持っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクをする際に、何をしたいか伺ったうえでやっている。迷っている方には幾つかの案をお提供し、選択して頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容と連携を図り、ご本人様の望む身だしなみやおしゃれに添えるように努めている。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	身体機能を維持するためにも、食事の準備や後片付け等、積極的に行って頂いている。又、お料理会の開催や出前等を通し、食事を楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量や食べ方、飲み方を記録し、本人に合わせた食事形態を工夫し提供している。又必要に応じて医師、看護師に相談し指示を仰いでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを促し、見守りの介助を行っている。又、就寝時には、義歯をお預かりし義歯を洗浄している。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレにて排泄できる様誘導のタイミングを考えている。法人の改善事例研修で入居者様の排泄パターンや行動を明確にし、リハバンから布パンツに変更出来た方も居る。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を利用し、職員間での情報を共有している。又、医師、看護師と相談し、お客様が不快にならぬよう努めている。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴予定は決めさせて頂いているが、気持ちよく入って頂ける様に支援している。また、季節に応じて菖蒲湯やゆず湯を提供している。体調面や拒否がある時は変更している。又、無理強いすることはない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調やその日の状態に応じて、日中臥床時間を設けたり、外気浴をして夜間の安眠を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員間で情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人が、その人らしく生活出来るように、支援しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為、外出が出来ていない。外気浴やホーム内の行事を楽しんで頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ禍の為、お買い物には行けないが、移動パン屋さんで玄関まで来て頂きパンを選び購入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人情報に配慮して電話を取り次いだり手紙や年賀状など、大切な人との繋がりが途切れない様に支援している。又、利用者様の携帯は、常にご自身が使用できるようにしている。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに協力して作った季節の壁飾りを展示したり、行事等で撮った写真を飾っています。又、職員、入居者様と協力し掃除や消毒を定期的に行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人様の活動に合わせ、座席配置の工夫をしている。パズルや塗り絵、読書など一人でも気の合った方でも過ごせる環境を作っている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や物品、配置などは入居時にご家族様もしくはご本人様にお任せしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、能力に応じて生活が送れるように支援しています。洗面所の近くに椅子を置いたり、ご本人様の居室と分かるように目印をつけたり、トイレなどを明記し、安心して生活出来るような環境を作っている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 GHプラチナ・ヴィラ青葉台

作成日 令和4年5月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
11	7	利用者様が、避難訓練に集中して参加出来ていない。	全ての入居者様が集中し避難訓練が出来る。	避難訓練を行う前に避難訓練をする重要性を説明する。また、DVDを活用し理解を深める。	2年
2					
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。